

キャリアアップに資する教育訓練計画

株式会社アキューキア

訓練名	種別	職種		1年目	2年目	3年目	4年目
社会人としての訓練	社会人としてのキャリアアップのための基礎的訓練	全職種	目的・効果等	派遣労働であることの意義と目的について理解すると共に、社会人としてのマナーを身に着ける。			
			具体的訓練内容	マナー研修			
			時間数	8時間			
			手段	OJT			
アナログ回路設計	職能別訓練	電気電子開発	目的・効果等	基本的な回路設計を行う。	データ構造に合わせた回路設計を行う。	回路環境のメリット・デメリットを把握し、最適な回路設計を行う。	
			具体的訓練内容	電子回路基本素子について理解する。各回路に適切な権限を指示の下で設定する。	電子回路の特徴について理解する。大容量のデータがある場合のパフォーマンスをチェックする。	設計した回路に対してベンチマークツールを使ってパフォーマンスの確認を行う。パフォーマンスの落ちた回路に対して調整を行う。	
			時間数	8時間	8時間	8時間	
			手段	OJT	OJT	OJT	
アナログレイアウト設計	職能別訓練	電気電子開発	目的・効果等	アナログICの論理・回路設計等の基礎的な原理を理解し、設計支援ツールを活用しながら論理・回路設計を行うことができる。	論理・回路設計の原理を理解し、機能設計で分割された機能図やブロック及び接続関係を、ゲートレベルでの論理・回路設計(論理合成)で作成できる。	アナログICの論理回路に関し、レイアウトの全体配置とタイミング検証を考慮しながら、静的タイミングツールにより、アナログIC設計の最適化を実践できる。	
			具体的訓練内容	デザインルールチェックなどのツールを用いて標準的なレイアウト検証を行う。	様々な設計支援ツールを駆使しながら、様々な種類のアナログICのレイアウト設計を行う。	検証過程で発見した設計エラーやミスについて設計仕様まで遡って適切な原因究明及び解析を行う。	
			時間数	8時間	8時間	8時間	
			手段	OJT	OJT	OJT	
プログラミング言語研修	職能別訓練	電気電子開発	目的・効果等	指導により、使用するプログラミング言語の規格やソフトウェアのバージョンについて概要を把握できるようになる。	使用するプログラミング言語の規格やバージョンについて、ひととおり理解することができる。	使用するプログラミング言語の規格やバージョンについて、詳細に理解し、必要に応じた環境設定ができる。	
			具体的訓練内容	上位者の指導に基づいて、C言語によるデータの操作の補助を行い、定義付けを理解する。	C言語をサポートする開発環境でのプログラミングを行う。	C言語により設定したプログラム仕様に関してチェックを行う。エラーなどの不具合が発生した場合の原因究明・改善方法を理解する。	
			時間数	8時間	8時間	8時間	
			手段	OJT	OJT	OJT	
リーダー育成訓練	職能別訓練	全職種	目的・効果等				業務目標の達成に向けて組織を統率する能力を培う
			具体的訓練内容				リーダー研修(コミュニケーションスキル)
			時間数				8時間
			手段				OJT